

年内の完成に向けて復旧進む

木山神宮上棟祭 じょうとうさい

木山神宮で6月3日、上棟祭が執り行われました。

熊本地震で倒壊し、平成30年3月から始まった神殿復旧事業。神殿の柱が全て建ち上がり、以前の神殿のものを修復した棟木が上げられました。

禰宜の矢田幸貴さんは、「地域の皆さんと歩んできた5年間。次のお正月は新しい神殿と鳥居で迎えることができる。これからも地域のよりどころの神社として再建を進めていくとともに、未来にわたって、子どもたちに益城の大切な文化財を残していきたい」と話しました。



出席者が掛け声に合わせて引く紅白の綱で上げられた棟木



寄贈されたフェイスシールドを着用し対応する医療従事者

高齢者の優先接種が加速

新型コロナウイルスワクチン集団接種

町保健福祉センターで6月9日、町では初となる新型コロナウイルスワクチンの集団接種が行われました。

これは、町内の65歳以上の高齢者を対象としたもので、1日当たり150人に接種。7月末までに計24回の実施を予定しています。

接種会場には、医師や看護師をはじめ、町職員約25人を配置。医師たちはF-WAVE(株)熊本工場から1,000枚寄贈されたフェイスシールドを着用し、対応していました。

宝くじ助成で備品を整備

広崎2町内公民館

広崎2町内で5月、コミュニティー助成事業を利用して公民館の備品が整備されました。

コミュニティー助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティー活動に必要な備品の整備などに対して助成を行い、地域コミュニティーの発展と住民福祉の向上を図るものです。

今回の備品整備により、広崎2町内のコミュニティー活動が、今後ますます活性化することが期待されます。



整備された備品の一部 1 ホワイトボード 2 椅子 3 机 4 物置

Best Smile
今月のベスト笑顔

